



倉敷市

＜令和2年6月作成＞

KURASHIKI CITY



内水ハザードマップ

本マップは、梅雨や台風などの大雨によって排水施設(排水路・下水道施設など)で排水しきれなくなった雨水があふれ出し、浸水が発生した場合を想定したものです。河川がはんらんした場合の浸水を想定した洪水・土砂災害ハザードマップとあわせて、お住まいの居住地などが、どの程度浸水するおそれがあるのかをご確認いただき、浸水被害軽減のために、お役立てください。



発行元 倉敷市 下水道部

住 所：倉敷市西中新田 640

電 話 番 号：086-426-3593(浸水対策室)

ホームページ：<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/gesui/>



マップの活用方法

STEP 1

自宅周辺が浸水する区域か、浸水深はどのくらいか確認しましょう。



STEP 2

避難の必要性、避難場所および避難経路を検討しましょう。



STEP 3

実際に避難経路を歩いて危険な場所が無いか確認しましょう。

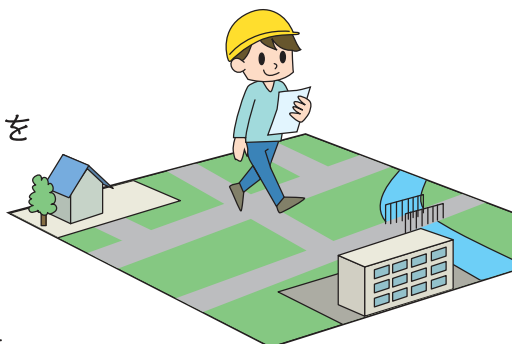


STEP 4

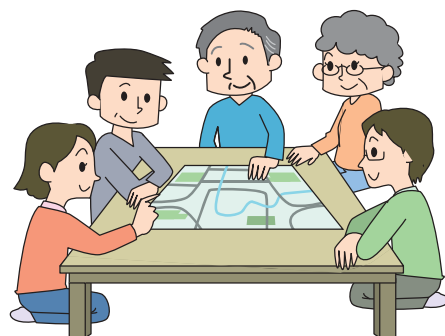
内水はんらんが起きた際の行動について家族で確認しましょう。

確認事項

- ☐ 河川や水路の近くを通らないか？
- ☐ 土砂崩れが起きそうな場所を通らないか？
- ☐ くぼ地や地下道を通らないか？
- ☐ マンホールや側溝は道路のどこにあるか？



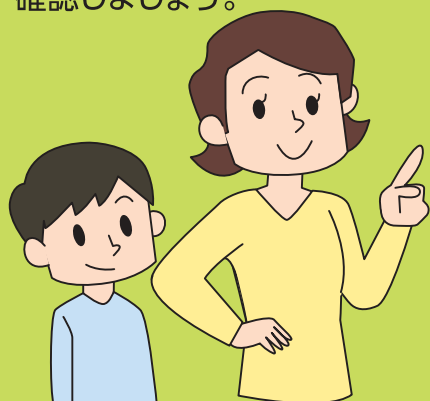
避難経路を歩いて確認した情報を共有し、避難場所や連絡方法を確認しましょう。また、避難の際の役割分担や帰宅困難時の対応方法などを相談しましょう。



洪水・土砂災害ハザードマップも併せて確認しましょう

倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップには、高梁川水系（高梁川・小田川）、倉敷川水系、里見川水系、笹ヶ瀬川水系で河川がはんらんした時の浸水区域と浸水深が表示されています。

内水ハザードマップとあわせて、洪水時の避難についても確認しましょう。

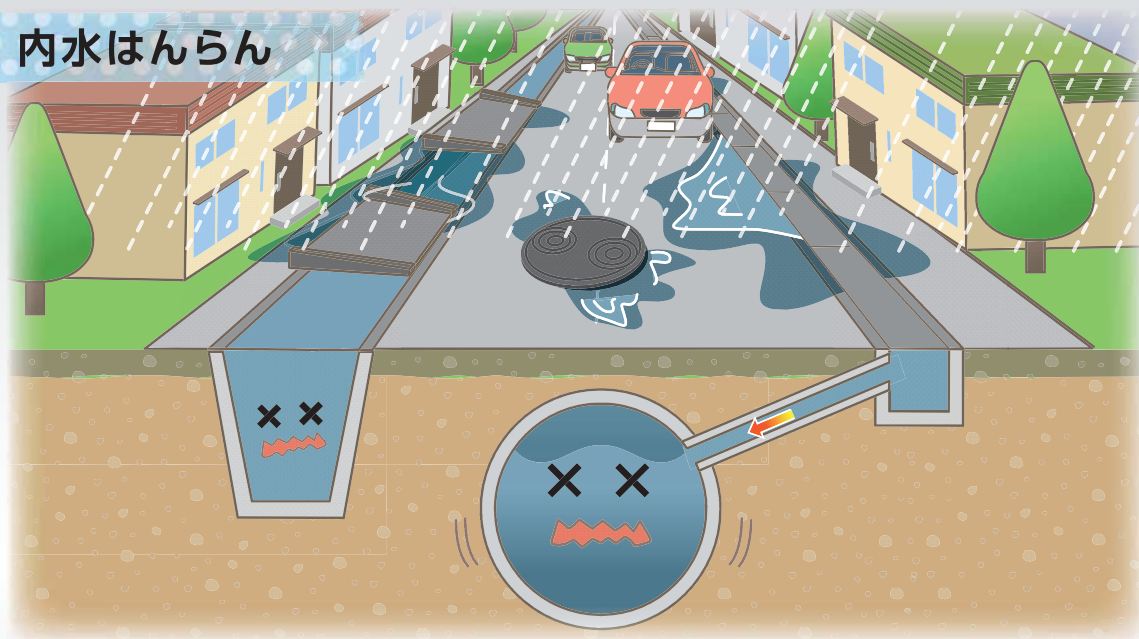




内水はんらんとは

大雨が降ると、排水施設(排水路・下水道施設など)では、雨水を排水できなくなることがあります。また、河川の水位が上昇すると、排水施設の水はけが悪化し、排水できなくなることがあります。このように、排水施設的能力を超えて雨が降ることにより、建物や土地・道路が浸水してしまうことを「内水はんらん」といいます。

内水はんらん



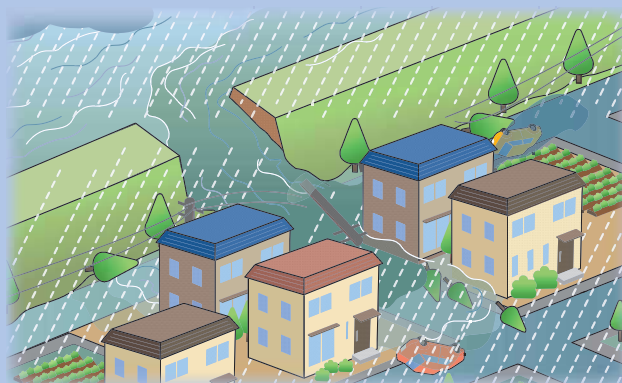
● 近年の内水はんらんの様子

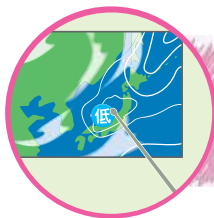


さらに雨が降り続くと…

外水はんらん

長時間雨が降り続くと河川が増水して、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊することにより、浸水することを「外水はんらん」といいます。「外水はんらん」は家屋の倒壊や流出等の大規模な被害を引き起こすことがあります。





大雨時の気象情報

これらの情報には特に注意しましょう。

種類	内容
大雨注意報	大雨・洪水による災害が発生するおそれがあると予測されるときに発表されます。
洪水注意報	
大雨警報	大雨・洪水による重大な災害が発生するおそれがあると予測されるときに発表されます。
洪水警報	
大雨特別警報	台風や集中豪雨による数十年に一度の降雨量となる大雨が予測され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想されるときに発表されます。

雨の降り方と災害の危険性

	10～20mm未満	20～30mm未満	30～50mm未満	50mm以上
1時間雨量				
人への影響と 野外の様子	地面からはね返りで足元がぬれる。 地面一面に水たまりができる。	傘をさしていてもぬれる。 車のワイパーを速くしても見づらい。	道路が川のようなになる。 車のブレーキが効きにくなる。	傘は役に立たなくなる。 水しぶきで一面が白くなり、視界が悪くなる。
災害の危険性	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。	道路冠水のおそれがある。 小規模のがけ崩れのおそれがある。	山崩れ、がけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難の準備が必要。	土石流が起こりやすい。 多くの災害が発生する。

大雨時の避難情報

避難準備・高齢者等避難開始 (要配慮者避難)



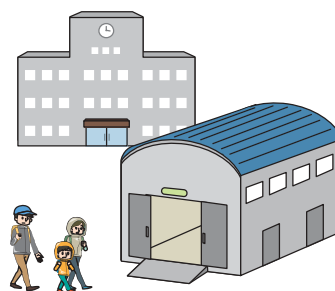
要配慮者※等、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始することを促す段階です。

避難勧告



通常の避難行動ができる人に避難行動を開始するよう促す段階です。

避難指示 (緊急)



直ちに避難所や安全な建物に避難する段階で、人的被害の発生する危険性が非常に高い状況です。

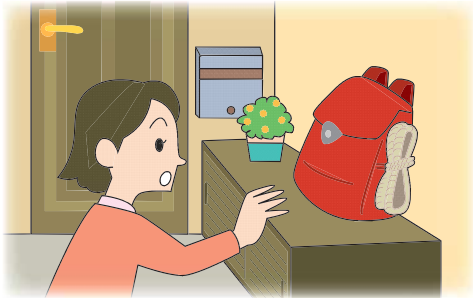
※要配慮者：高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等、災害時において特に配慮を要する人



日頃からの備え

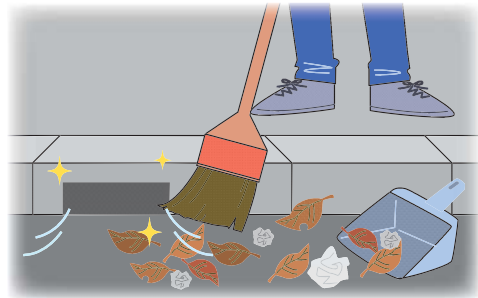
大雨に備えた準備

非常時持出品を まとめましょう



非常時の持出品をまとめ、身近なところにおいて、いつでも避難できるようにしておきましょう。

自宅周辺の排水状況を 確認しましょう



落ち葉などでふさがらないよう、自宅周辺の排水施設を定期的に清掃しましょう。

非常時持出品



チェック欄	
ラジオ (AM・FM両方聞ける物が便利)	
懐中電灯 (できればひとりに一個)	
予備の乾電池	
救急薬品	バンソウコウ・ほうたい・ きず薬・鎮痛剤・胃腸薬 (持病のある人は常備薬も忘れずに)
飲料水	
非常食品	乾パン 缶詰等 (火を通さないで食べられるもの) 紙コップ・紙皿 ナイフ・缶切
貴重品	現金 通帳・印鑑 健康保険証のコピー 免許証・身分証明書

チェック欄	
衣類・防寒着	下着・靴下
	上着
	レインコート
	タオル
その他	ライター・マッチ・ろうそく
	ティッシュ・ウエットティッシュ
	カイロ
	ラップ
	ヘルメット
	軍手
	マスク
	体温計
	消毒液

高齢者、障がい者、乳幼児等がいる家庭は、それぞれ必要なものを準備しておきましょう。



地域でできること

倉敷市では、自主防災組織の推進と防災訓練、避難訓練を行っています。日ごろから一緒になって防災活動に取り組むことで、防災意識を高めることにつながり、いざという時、お互いに助け合ったり、落ち着いて行動ができるようになります。



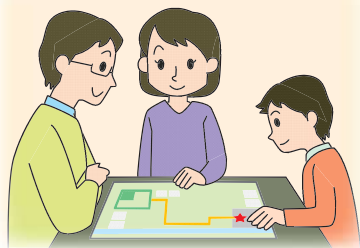


水害への備え

梅雨や台風など、大雨が発生しそうなときは事前に対策を行いましょう。

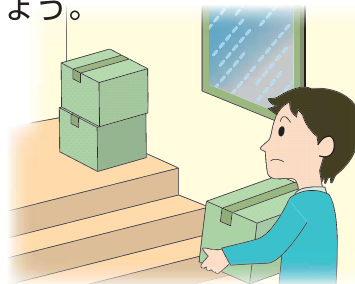
ハザードマップの確認

避難場所や家族の連絡先などについて、家族全員で確認しておきましょう。



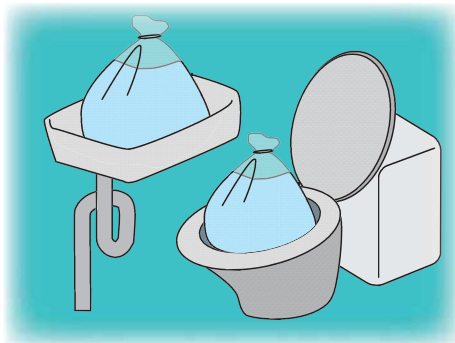
床上浸水に備えましょう

床上浸水のおそれがある場合は、家財道具を2階などの高いところへ移動させましょう。



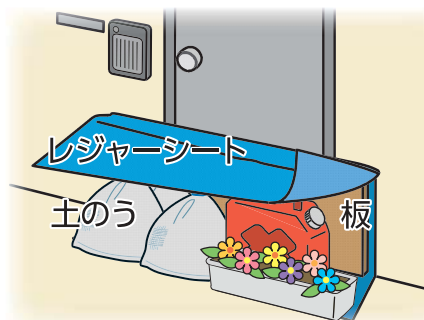
思わぬ浸水に備えましょう

浸水により下水が逆流することがあります。2重3重に重ねたビニール袋に水を入れた水のうでトイレや排水口に重しをすると逆流を抑える効果があります。



土のう

土のうにより玄関等の出入り口からの浸水を防ぎます。板やレジャーシートを併用すると、より効果的です。土のうは水の入ったポリタンクやプランター等でも代用できます。



雨水貯留槽の設置について

倉敷市では、浸水被害の軽減対策の一環として、雨水の流出抑制のため、雨水貯留槽の設置や浄化槽の雨水貯留槽への改造をしようとする方を対象に補助金を交付しています。

詳しくは、
下水経営計画課 (086-426-3581)
へお問い合わせください。

雨が降りそうな日には、槽内の水を空にしましょう。

雨水の流出を抑制する効果があります。

庭木への散水等に有効利用できます。

災害時の緊急用水としても確保できます。



大雨時の情報収集

自ら情報収集する意識が大切です。



インターネットによる情報収集先

倉敷市HP	http://www.city.kurashiki.okayama.jp	避難情報が入手できます。
川の防災情報	https://www.river.go.jp	降雨量の分布や河川水位等の情報が入手できます。
気象庁HP	http://www.jma.go.jp	気象警報や台風情報が入手できます。
岡山防災ポータル	http://www.bousai.pref.okayama.jp	注意報や河川水位等の情報が入手できます。
倉敷市公式ツイッター	https://twitter.com/kurashiki_city	倉敷市HPの更新状況や避難情報が入手できます。

おかやま防災情報メール

「おかやま防災情報メール」は気象台が発表する大雨、洪水等の警報、注意報、岡山県内で観測された雨量、河川水位、潮位など最新の防災情報が配信されるサービスです。以下の手順で登録できます。

1

in@bousai.pref.okayama.jp
へ空メールを送信。

QRコードからメールアドレスを取得することもできます。

2

岡山県

返信メールが来たら、そこに記載されているURLにアクセス。
in@bousai.pref.okayama.jp
のメールが受信できるようにしてください。

3

免責事項等を確認し、配信希望市町や配信情報の確認を行って、登録ボタンを押します。

4

配信情報の変更をする場合には、返信メールのURLにアクセスして設定を変更してください。

※通信費(パケット料金)は登録者のご負担となります。



避難時の行動と心得

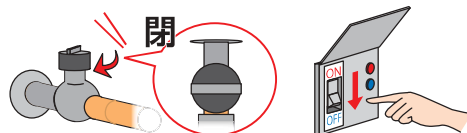
屋内安全確保(垂直避難)

夜間や、すでに浸水域が広がり、屋外に逃げるのが危険な場合には、自宅や近くの建物の2階以上の山側から離れた部屋に避難し、水が引くのを待ちましょう。



避難する前に確認を

家を出るときにガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを落としましょう。また家族に連絡先、安否確認などのメモを残し、家の戸締まりも忘れないようにしましょう。



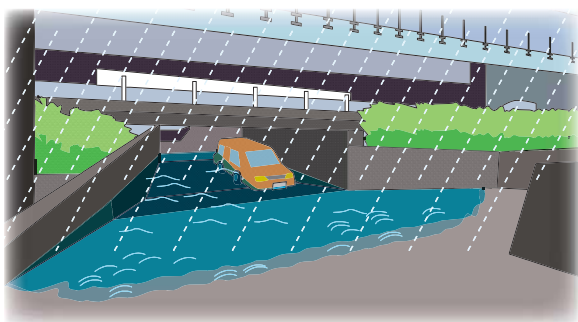
車で避難する場合の注意

車で、高台や運動公園駐車場などに避難する場合には、携帯トイレや食料などの準備に加え、エコノミークラス症候群などへの対策が必要です。



地下道利用の注意

地下道は真っ先に浸水してしまうため、もしもの時のために迂回路を確認しておきましょう。



足元に注意を

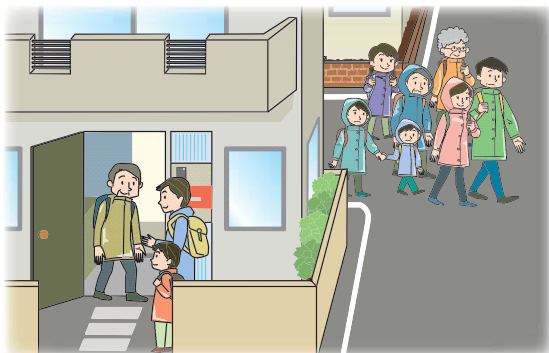
避難時はスニーカーなどの運動靴を履きましょう。水路への転落等を避けるため、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。



助け合いのころ

家族、地域の方々と一緒に避難を

避難するときは、単独行動を避け、隣近所に声をかけ、お互い協力しながら2人以上で行動しましょう。



要配慮者への支援

高齢者や肢体の不自由な方、目や耳の不自由な方には、迅速な情報提供によって、早い段階で避難を促すことが重要です。近隣の高齢者や障がいのある方などの安否確認や避難の支援をしましょう。

